

2024年度

公益財団法人ダノン健康栄養財団

行動目標 1

取り組む課題	食塩（ナトリウム）の過剰摂取 若年女性のやせ 環境面への課題（気候変動、生態系等への取組等）
中長期的な目標	「減塩」「若年女性のやせ」「環境課題」について、2027年までに15本の記事を作成し、メールマガジン「Nutrition News」への配信およびホームページでの公開を行う
行動計画	各栄養課題について1本/年（合計3本/年）の記事を掲載する
実施期間	2022年10月～2027年9月
評価指標（KPI）	掲載回数（本/年）
目標設定時の評価指標に関する数値	3つの主要な栄養課題についての記事作成・発信の取組なし（直近1年の間に、健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブの取組について紹介した記事（1本）あり）
評価指標のモニタリング手法	年に1回、対象記事の掲載回数を集計する
中長期的な目標 行動計画の背景・理由 現状の課題認識	当メールマガジンの主な読者層である管理栄養士・栄養士に向け、各栄養課題に取り組む重要性について啓発を行うことが重要であると考えた。

実績報告

実績報告日	2025年6月25日
取組実施期間	2024年4月～2025年3月
直近の実績（2024年度）	栄養課題に関する記事の掲載本数：5本/年 （減塩の記事2本（7月、3月）、環境課題の記事3本（9月、12月、2月））
実績等の補足説明	期間内に若年女性のやせをテーマにした記事を公式サイトに公表することができなかったが、2025年11月、食育情報サイト「ごはんだもん！げんきだもん！」にて成長期の無理なダイエットによる影響についての記事を掲載した。
今後の計画とその理由	-

行動目標 2

取り組む課題	食塩（ナトリウム）の過剰摂取
中長期的な目標	食育情報サイト「ごはんだもん！げんきだもん！」に減塩の特設ページを開設し、2027年までに50本の減塩レシピまたは減塩記事を掲載する
行動計画	合計10本/年の減塩レシピ・減塩記事を掲載する
実施期間	2022年10月～2027年9月
評価指標（KPI）	掲載回数（本/年）
目標設定時の評価指標に関する数値	目標設定以前の取組なし
評価指標のモニタリング手法	年に1回、対象記事の掲載回数を集計する
中長期的な目標 行動計画の背景・理由 現状の課題認識	子ども～大人までを対象とした食育情報サイトである「ごはんだもん！げんきだもん！」での情報提供が、広く減塩を意識づけることにつながると考えた。

実績報告

実績報告日	2025年6月25日
取組実施期間	2024年4月～2025年3月
直近の実績（2024年度）	減塩レシピ・減塩記事の掲載回数：11本/年（減塩啓発記事1本、減塩啓発動画4本、減塩レシピ（訴求）5本、減塩レシピ（非訴求）1本）
実績等の補足説明	減塩レシピ（非訴求）については、食塩相当量1.5g未満/食のレシピをカウントした。
今後の計画とその理由	-

行動目標 3

取り組む課題	環境面への課題（気候変動、生態系等への取組等）
中長期的な目標	当財団が実施する食育講座において「食品ロス」についての情報提供を継続的に実施する
行動計画	対面またはオンラインで実施する食育講座の80%において、食品ロスに関する情報提供を行う
実施期間	2022年10月～2027年9月
評価指標（KPI）	対面またはオンラインによる食育講座の実施回数に対する当該情報提供回数の割合（%）
目標設定時の評価指標に関する数値	50%（2021年4月～2022年3月に実施したリモート講座4件中、2件にて情報提供を実施済み） ※コロナの影響で、講座実施回数が少なかったため、参考値
評価指標のモニタリング手法	年に1回、実績データを集計する
中長期的な目標 行動計画の背景・理由 現状の課題認識	当財団の食育講座は小学校～中学校の児童生徒および保護者・教職員を中心に、高校や企業等からも依頼があることから、幅広い世代に直接訴えかけることができると考えた。 特に食品ロスの問題は講座の内容との関連も深いことから、提供する情報として適していると考え設定した。

実績報告

実績報告日	2025年6月25日
取組実施期間	2024年4月～2025年3月
直近の実績（2024年度）	対面またはオンラインによる食育講座の実施回数に対する当該情報提供回数の割合：100% 対面またはリモートの食育講座を19件実施した（内訳：小学校8件、海外の日本人学校1件、中学校4件、高等学校2件、高齢者向け講座2件、地域イベント1件、教育委員会研修1件）。そのすべてにおいて「食品ロス」についての情報提供を行った。
実績等の補足説明	-
今後の計画とその理由	-